

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 2 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	備蓄品(缶詰、レトルト食品等)が消費期限切れで、購入が必要、備蓄品の再点検を行う必要がある	グループホーム、デイサービス、あったかふれあいセンター、シルバーマンション等施設規模に応じた非常食を準備し、非常時には安定した食糧が提供できるようになる	①施設規模に合わせて最低3日分の缶詰、レトルト食品を購入する ②防災マニュアル等を参考にして、必要物品を揃える	2ヶ月
2	49	家族やボランティアの協力が得られることで、入所者全員で外出することができる	家族やボランティアの協力により見守り人員が増え、安全に外出することができる。また、普段事業所に足を運ぶことが少ない家族も、一緒に外出する機会を設けることで、利用者と触れ合うことができる	①1年間の行事予定を2ヶ月毎の家族あてのおたよりに同封して、行事参加を促す ②運営推進会議で行事を報告し、ボランティア等の参加を促す(地域住民にも協力を得る) ③家族には、面会時に利用者との外出同行を促す	12ヶ月
3	11	年に数回3ユニット合同での職員会を開催し、情報共有と意見交換が行える機会をつくるようにする	職員一人ひとりの意見を取り入れ、検討していくことで、職員全員が働きやすい職場を作り、良い事業所にしていくことができる	①全職員で2ヶ月に1回行っているホーム研修に折り込み、半年に1回、3ユニット合同職員会を設ける ②3ユニット合同職員会で取り上げた内容を月1回のユニット会で検討し、また、リーダー会でも検討する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月